

各 位

沖縄県立博物館・美術館 管理事務所

5/18 開幕！博物館企画展

「新収蔵品展 -令和 2 年度収蔵資料-」

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）は、5 月 18 日（火）から博物館企画展「新収蔵品展-令和 2 年度収蔵資料-」（主催：沖縄県立博物館・美術館）を開催いたします。昨年度（令和 2 年度）に寄贈・収集・購入・移管・修理された資料を一堂に紹介いたします。

つきましては、本展覧会開催に先立ち、開幕前日 5 月 17 日（月）に 15 時 30 分からメディア向けの内覧会を行います。

ぜひ、この機会にご参加いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

「新収蔵品展」メディア向け内覧会

日 時：2021 年 5 月 17 日（月）15：30～16：30

場 所：博物館 3F 企画展示室

※当日は休館日となりますが、15：00 より正面玄関を開場します。

■コロナ対策について

1. 発熱（37.5℃以上）や体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
2. 当日、来館までに検温を必ず行ってください。
3. 来館の際にはマスク着用、手指の消毒をお願いします。
4. 展示室内では密にならないようご配慮をお願いします。

博物館企画展「新収蔵品展-令和 2 年度収蔵資料-」

会 期：2021 年 5 月 18 日（火）～6 月 20 日（日）

場 所：博物館企画展示室、特別展示室 1

開館時間：9：00～18：00（金・土は 20：00 まで）

休 館 日：毎週月曜日

観 覧 料：一般 500 円、高大生 300 円、中学生以下無料

内 容：「新収蔵品展」は前年度に新たに収蔵（寄贈・収集・購入・移管・修理）された資料を一堂に集め、広く一般に公開します。



【主な展示資料の紹介】

1. 島根県津和野町産の花崗片麻岩（日本最古の岩石：約 25 億年前）

《寄贈者：公益財団法人益富地学会館》

この岩体の一部は「北中国地塊」と呼ばれる古い大陸地殻からなる安定陸塊を構成していたと考えられており、原日本列島の形成史をひもとく上で大変重要な標本となります。



2. ギベオン隕石（切断研磨面）

切断面に見られるのは鉄隕石に特有なウィドマンステッテン構造です。この構造は、隕石のもととなった微惑星の中心核で鉄とニッケルが 100 万年に 1℃程度というゆっくりとしたスピードで冷えたためにできたと考えられています。



3. うるま市伊波採集土器《寄贈者：新田邦子》

1960 年代に伊波グスク（うるま市石川）の崖下周辺から採集された縄文時代後期の土器です。口縁部から胴部にかけての破片資料ですが、全体の形が想像することができる貴重な資料です。



4. 城間榮順「古典紋様芭蕉布 波にかえで」

《寄贈者：沖縄伝統びん型保存会》

沖縄県指定無形文化財「びん型」保持者である城間榮順氏によって染められた生命感あふれる紅型衣裳です。波とかえでは古典柄から選択され、作者ならではの表現で、生き生きとした力強い魅力が加わっています。



※新型コロナウイルス感染防止の観点から「3 密」状態の防止やアルコール消毒の実施など十分な予防対策を行い、安心・安全な環境を整えます。

※取材を希望される際には事前に下記まで連絡をお願いします。

＜お問い合わせ先＞

沖縄県立博物館・美術館指定管理者 （一財）沖縄美ら島財団

企画班 事業広報営業担当（福治・金城）TEL098-941-1232/FAX 098-941-2392